

# 横浜市立荏田南中学校

# 学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/edaminami/>

3月号

平成31年3月8日発行

横浜市都筑区荏田南2-5-1

TEL 045-942-0960

## 平成30年度 学校評価についてお知らせします。

校長 松浦 良彦

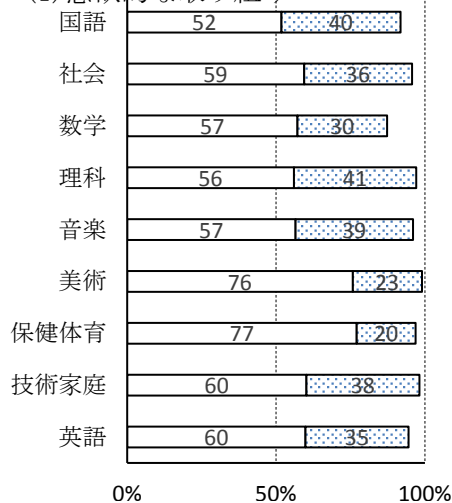
### 1 生徒による授業評価

日頃の授業を振り返り、より良い授業を目指すために次のような質問項目でアンケートを実施しました。その結果をグラフで表しています。

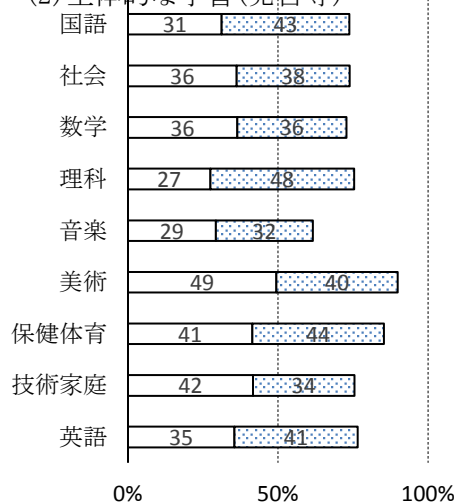
- (1) あなたは興味を持って意欲的に授業に取り組むことはできましたか。
- (2) あなたは、分からないところを調べたり、先生に質問したりしていますか。
- (3) 授業は、落ち着いて受けられ、学習に集中できる雰囲気がありますか。
- (4) 先生の説明は、丁寧で分かりやすいですか。
- (5) 先生は、評価方法を説明し、評価の観点にそって適切に評価していると思いますか。
- (6) 少人数授業やT・T授業は、他の授業に比べて、授業の内容が分かりやすいですか。

1年生の理科と英語、3年生数学で、T・T授業（複数の教員による授業）、少人数編成での授業を行っています。

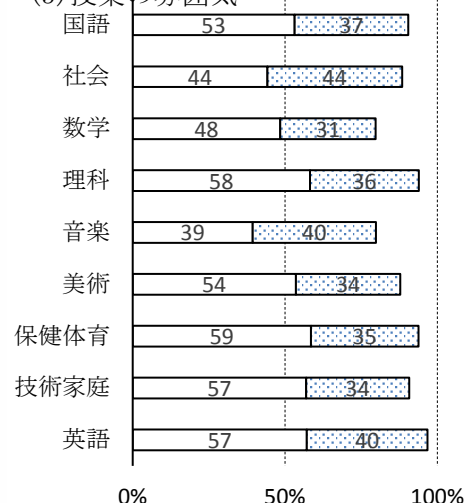
(1) 意欲的な取り組み



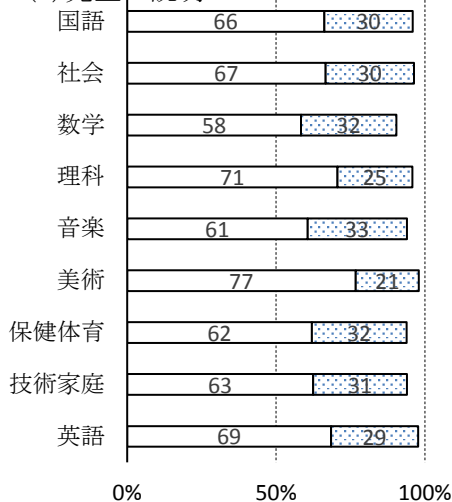
(2) 主体的な学習(発言等)



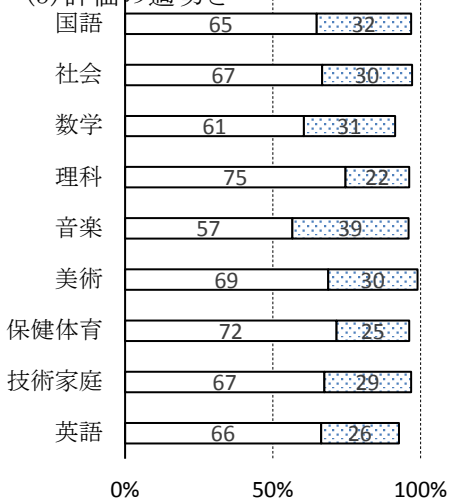
(3) 授業の雰囲気



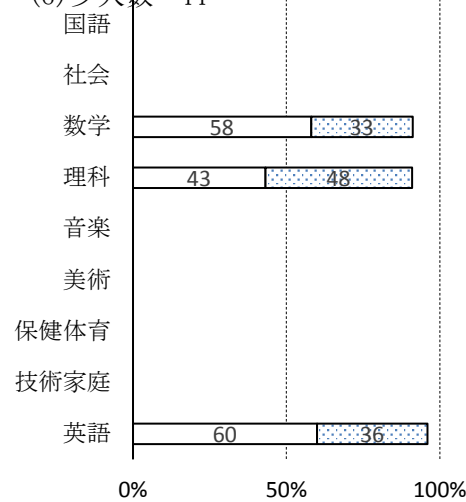
(4) 先生の説明



(5) 評価の適切さ



(6) 少人数・TT



□ : あてはまる    ▨ : ややあてはまる

## 各教科担任からのまとめと今後の目標

国語	<p>国語科の授業は、3学年とも意欲を持って授業に取り組んでいる生徒がほとんどなので、引き続き工夫をしていきたい。発言や質問についてはやや低い評価もあるが、国語は、作文やスピーチなど発言の機会のない授業もある。授業の雰囲気だが、班活動や討議の時間等では、活発な反面、意見が交錯しうるさくなくなってしまうこともあるので、きちんと活動できるように気をつけていきたい。教員の説明については、良い評価になっているので、これからも引き続き努力していく。評価は、定期テストごとに観点の説明を行い、またスピーチや作文の取り組み前に評価基準を示しているなので、継続していきたい。国語の力を付けるため国語科教員全員で良い授業を作っていきたい。</p>
社会	<p>発問や話し合いを通して、生徒の発言を引き出す授業ができた。課題として、発達段階や分野によって生徒の意欲に差が見られることがあげられた。来年度はこの点に注意し、関心意欲を引き出し、基礎基本が定着できるようなカリキュラムを計画し、単元・授業を展開していく。さらに、「深い学び」に向けて、教材研究の段階で、教員が教材と主体的に対話し、教員がしっかりと理解を深めていくことにも力を入れていく。</p>
数学	<p>対話的な授業を増やしていくことで授業の雰囲気をより良いものを目指していく。発言や質問については昨年度よりも意欲的になっていた。3年生の少人数授業については、生徒主体の授業を展開することで、もっと一人ひとりが満足いくような進め方をしていく。</p>
理科	<p>生徒の興味・関心を持つことができる導入のトピックを取り入れることにより、多くの生徒が意欲的に授業に取り組むことができたと考えられる。今後も最新のまた身近な話題が提供できるように努めていきたい。課題として、発言や質問を積極的に行うことができていない生徒も見られるので、発言しやすい雰囲気づくり、また段階的な発問を準備し展開していきたい。1年生はT・Tを活用することにより、観察・実験を中心に、きめの細かい指導を行うことができたと考えられる。今後も継続していきたい。</p>
音楽	<p>音楽の楽しさを伝える授業を展開するために、教材や指導の工夫に取り組んだ。生徒の学習に対する取り組みや意識に個人差はあるが、概ね意欲的に取り組み、美しいものを素直に美しいと感じ、表現できる生徒を育てることはできたので、引き続き工夫を重ねていきたい。今年度の課題は「授業の雰囲気」と「評価」であるので、移動をしたり音を出したりする活動の中での声掛けや雰囲気づくり、評価基準の明確化に努めていく。</p>
美術	<p>単元によって偏りはあるかと思われるが、授業に対しては意欲的に取り組んでいるので、誰もが意欲的に取り組めるような工夫をしながら授業づくりをしていきたい。「評価」に対しては、作品が良くなる明確なポイントを伝えたりすることによって、以前よりも向上心が上がったので引き続き細やかに対応していきたいと思う。「発言」に対して課題がみられるので、教科の特性から作品の鑑賞時に生徒の活発な発言を引き出せるような声かけをして、色々な方向からの見方を育てられるように取り組んでいきたい。</p>
保健体育	<p>生徒が意欲的に取り組む授業展開ができた。今後は自ら考え、行動できる生徒の育成、集団の中で先頭に立ち、引っ張っていくリーダーの育成に努めていきたい。また「発言や質問」が低いところから、先生に質問しやすい雰囲気づくり、生徒同士のコミュニケーションが活発にできるよう、話し合い活動の機会を多く設けるなど発言の機会を増やしていく。</p>
技術・家庭	<p>教材や授業内容の工夫を行うことにより、生徒の授業に対する取り組む姿勢はとてもよい。特に実習においては興味・関心が高く、事故などはなく学びながら取り組んでいた。しかし、授業時数の少ない上、学習内容が多いことから、実習に充てる時間が少なくなり、授業の慌ただしさや授業展開の速さに苦勞する生徒がいるのが実情であり反省点である。この解決に向けて、板書内容や授業内容の工夫、教材の開発やプリントの作成などで改善していけるように努めたい。</p>
英語	<p>なかなか同じ傾向から抜け出せないでいる。生徒一人ひとりの授業への意識は高く、積極的に授業に取り組んでいたりと、活発な雰囲気の中で、意欲を持ってたくさん発言をしている様子がわかる。しかし、わからないところなどを自ら質問をする雰囲気作りはまだまだ課題が残る。評価については、正當に評価されていると多くの生徒が感じている。また、1年生で実施している少人数授業については、多くの生徒が意義を感じている。今後も質問しやすい環境づくりに努め、評価基準を事前にしっかりと提示するなど、一人ひとりがより意欲をもって学習に取り組めるような授業づくりに努めたい。</p>

今年度の反省を踏まえ、次年度の授業改善に取り組んでいきたいと思ひます。